

大きな布とえのぐを使って

劇あそびをしていると背景になる山や森や木などないものがあるよね。と話していくと自然と「川もないよ」「橋もないよ」「岩だって」などよく知っているからこそどんどんと話が広がり、想像力に驚きました。

今回は、ばなな組の得意な(笑)身体を使って大きなキャンパスに描きました！



まずは、これ。と聞こえてくるような笑顔でみんな手足に色を付けて「みて！こんないろになった!!」と見せ合っていました。



少し気にしていた汚れも楽しさで気にならなくなり、「こうしたらもっとたのしい。」と自然と出てきた時の1枚。お互いの気持ちがぶつかりそうになった時、自然と相手の事を感じ、言葉で伝え待っていました。



「つるつるすべるよー」と両手両足を使い行ったり来たり。白い所を見つけては「あったよ」と知らせてくれました。

始めは恐る恐る布の上を歩いていました。「いいの？ほんとに!？」と聞こえてくるような表情でしたよ😊



“背景作り”を想像してみてください。子ども達が塗っている時に「あそこが白い」「こっちも塗って」と大人に言われたら全然楽しくないですね。どうしたら楽しく出来るかなと考えた時に「塗ろう」と言わないと決めました。子ども達がやることに共感し、一緒に楽しむ。色を混ぜながら「どんな色になるかな?」「乾いたらどうなるかな?」と問いかけたり期待を持ちながら楽しめた活動になりました。お洋服の準備や身体や服についた絵の具が落としきれずご迷惑おかけします。いつもご協力ありがとうございます。